



18日には、地域のたくさんの力をお借りして、閉校記念の最初の行事である運動会を盛り上げることができました。18日のブログでは、「おかげさまの運動会」と題し、運動会を支えてくださった方々のご活躍をお伝えしました。今回の「磨光」では、子どもたちの活躍をお伝えします。

## ダンス・ダンス・ダンス

4月28日から始まった、今年の運動会練習。運動会までの間の登校日数は10日余りでしたが、その間、最も練習時間を費やしたのがダンスでした。その間、廊下でその曲を歌いながら歩く子がいました。家でも音楽に合わせ、喜んで練習していた子がいたと聞いています。

私が小・中学生の頃、ダンス（といってもフォークダンスぐらいでしたが）を踊るのはとても苦手でした。今回の運動会では「着付けてサンバ！」に出場させていただきましたが、もし「マツケンサンバに合わせて踊ってください」なんて注文が来たら、三つ編み姿のまま、校外に逃げ出していたでしょう。体で思いを表現するのが恥ずかしい。なるべく目立たぬように。早くダンスの時間が終わりますように。おそらく当時の多くの友達も同じように感じていたのではないかと思います。

しかし、今や時代は移り、「ダンスを踊れるのがかっこいい」「憧れのダンサーのようになりたい」と、子どもたちの意識も大きく変わってきています。そして、そんな子どもたちが笑顔で、全身で踊る姿は、見ていて清々しいものです。

子どもたちには、言葉で表現するのが得意な子もいれば、音楽で表現することが得意な子もいます。図画工作で見事な絵を描く子もいます。

そして、そのどれもあまり達者ではないけれども、ダンスでなら表現できる子もいます。得意なことはちがっていても、人前でも堂々と自分を表現できることは、その子にとって、とても幸せなことだと思います。

二番目に言いたいことしか  
人には言えない  
一番言いたいことが  
言えないもどかしさに耐えられないから  
絵を描くのかもかもしれない  
うたをうたうのかもかもしれない  
(星野富弘『風の旅』より)



【5年】



【4年】



【6年】

閉校記念行事がスタートしたことで、閉校に向けて、もう止まることができない寂しさを感じました。地域の方々に支えられて頑張る子どもたちを見るにつれ、本山小学校が閉じられてしまうのが惜しくなりません。私も「大すき本山小学校」ですから。

【1・2・3年】

